



日本共産党
あさお
大輔

暮らし・平和・人権 国民のためブレずに働きます

高市首相が「経済優先」「目の前の仕事にとりくむ」など自身の言葉をひるがえし、解散・総選挙に打って出ました。いまだ多くの政党が右へ右へとなびき、自民党政治に呑み込まれています。
日本共産党は、大株主と大企業応援の政治から、国民の暮らし第一の政治に転換します。私は自民党政治そのものを変えて希望ある社会をつくりたい。

【プロフィール】1970年生まれ。55歳。小説家。新城市で育ち、現在、東栄町在住。名古屋大学法学部を卒業。東栄町で「北設案郡で唯一の入院・透析・救急医療を守れ」と訴える住民運動に参加している。
2023年4月、愛知県議会議員選挙（新城市・北設案郡選挙区、定数1）に立候補し、4,082票（19.8%）を獲得する。また、しんぶん赤旗に連載した小説「立春大吉」（新日本出版社、2023年）を刊行し、話題に。

**大株主・大企業応援から
国民の暮らし第一の政治に**

- 物価高騰を上回る賃上げ、労働時間短縮
 - 消費税廃止めざし、ただちに5%減税、インボイス廃止
 - 医療・介護の危機打開、年金引き上げ
 - 学費値上げストップ、値下げ実現
 - 原発の再稼働・新增設やめて、「原発ゼロ」へ
- アメリカいいなりやめて、外交の力で平和をつくる自主自立の日本を**

- 軍事費大増額許さない
- 安保法制廃止、「安保三文書」撤回
- 憲法9条を守り抜く

金権腐敗政治の一掃

- 企業・団体献金の全面禁止を
- 統一協会と、政治家との癒着の解明を

**一人ひとりの人権、個人の尊厳が
大切にされる社会を**

- 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化実現へ
- 男女賃金格差是正
- 差別と分断をおおる極右・排外主義政治許さない

財源

「タックス・ザ・リッチ」＝「富めるものに課税を」
「アベノミクス」で拡大された大企業減税年間11兆円、所得1億円を超えると逆に税率が下がる「1億円の壁」。軍事費大増額…これらをやめれば30兆円の財源が生まれます。

比例
代表は

日本共産党
とお書き
ください